

腰椎椎間可動性の画像的解析

1. 研究の対象

2017年からの2020年に当院で腰椎変性疾患（腰部脊柱管狭窄症・腰椎すべり症・腰椎椎間板ヘルニア）に対して手術を施行した患者さん

2. 研究目的・方法

腰椎は屈んだり反ったりすると時に大きく動く部位です。腰椎は通常5つの骨で構成されており、各椎体がそれぞれ可動性を持っています。腰椎変性疾患で不安定になった一部を固定する手術も一般的に行われていますが、それぞれどの椎間にどれくらい可動性があるのかははっきりしていません。今回の研究の目的は、電子カルテ内の術前の画像を用いて、それぞれの椎間がその程度可動性を持っているか解析することにより、今後手術で脊椎を固定した時にどの程度可動性の制限が出るのかを予測するためのデータを作成することです。

研究期間は病院長承認日から2023年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ：年齢、性別、腰椎前屈後屈のレントゲン画像 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒438-8550 磐田市大久保 512-3 0538-38-5000

磐田市立総合病院 整形外科 安田 達也

研究責任者：

磐田市立総合病院 整形外科 安田 達也